

恩納村子ども議会



将来を担う子どもたちが

より良いむらづくりを提案

2月17日、村議会議場で「恩納村子ども議会」が開かれました。

これは、生徒が議会運営等を体験することで、村議会や役場の仕組み・働きについて関心と理解を深めてもらおうと行われました。

うんな中学校の生徒13名が、村議会本会議の一般質問と同じ形式で、公共施設や教育、こどもの居場所づくり、生活について質問や提言をし、長浜村長らが答弁しました。

最後に、「恩納村子ども議会未来を創る宣言決議」が全会一致で可決され、議会は閉会しました。

議長を務めた根路銘国仁君は「緊張はしたけれど楽しめました。答弁を聞いて私たちが考えていることを解決しようとしていることを知ることができました。この経験を生かしているんなことに挑戦したい」と感想を述べ、最初に質問をした金本海穂さんは「私たちの意見を検討し対策してほしい。議員になれる機会があれば挑戦してみたい」と話しました。

